

(別紙5)

補助事業番号 25-1-127
補助事業名 平成25年度 青少年の健やかな成長を育む活動 補助事業
補助事業者名 公益財団法人 せたがや文化財団

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

演劇は社会的弱者に寄り添うツールの一つである。身体障害者の立場からコミュニケーションのあり方を問うことをテーマにした『Tribes トライブス』の上演により、社会的マイノリティーの保全、理解促進をはかる環境を、日常生活の中に個人が自覚をもって築いていける動機付けとしたい。

また、演技の一つとして手話も取り入れることで、聴覚障害者の方々も気軽に劇場へ足を運べるサービスと環境づくりを整備したい。

(2) 実施内容

演劇公演『Tribes トライブス』

台本は、先駆的な作品を発表することで知られるロンドンのロイヤルコート劇場発(2010年)の戯曲で本邦初上演となる。演出には日本演劇界の次世代を担うと期待される熊林弘高(2010年度文化庁芸術祭大賞受賞)を登用。

コミュニケーション不在の現代にあって、親と子が、家族がわかりあう事の難しさ、と同時に相手を受け入れ「聴くこと」の大切さを美しい台詞を通じて、メッセージとして現代社会に発するものである。また、登場人物の設定として、聴覚障害者の役が2名登場する。そのため、演技表現の一つとして手話を使用。障害者が抱える悩み、それに対応しようとする健常者の驕りと戸惑いも描かれ、演劇の範疇にとどまらない社会的な問題も提示されている作品を上演する。

① 出演者交渉

ダニエル：中泉英雄、ベス：鷺尾真知子、クリストファー：大谷亮介、
ルース：中村美貴、ビリー：田中圭、シルビア：中嶋朋子
に出演交渉をし、依頼する。

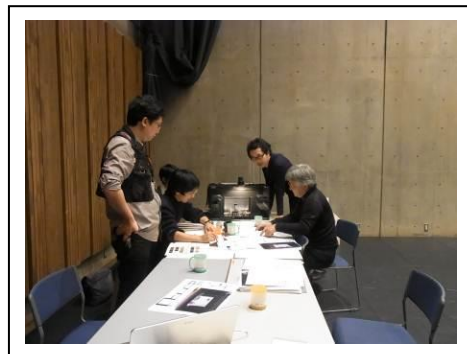
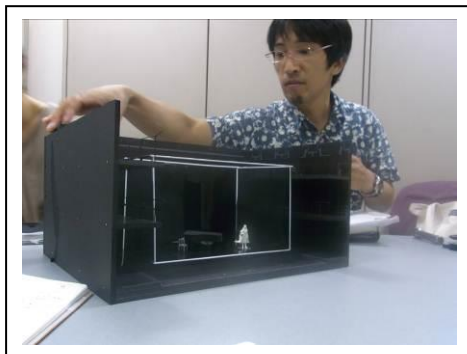
② 4月16日～ 翻訳台本作成

作家(ニーナ・レイン)の戯曲『Tribes』の勉強会として、翻訳家(木内宏昌)・
演出家(熊林弘高)・役者、手話コーディネーターと共に上演台本の研究を行う。

翻訳家書き下ろした台本をベースに、時代考証や台本の解釈などについて検討し理解を深める。

③ 9月17日～ 舞台美術検討会

舞台美術プランナー、演出家、舞台監督、プロダクションマネージャー、プロデューサーと舞台美術プランの打ち合わせを重ねる。



④ 10月1日 営業広報展開打合わせ／10月24日 宣伝美術写真撮影

演出家、出演者、カメラマン、プロデューサー、宣伝写真撮影。宣伝写真を撮影すると共に、宣伝美術のイメージなどを固める。



⑤ 11月25日 聴覚障害者との懇談会

聴覚障害を持つ俳優達を招いて手話やコミュニケーション方法について学ぶ。手話コーディネーターが役者に対して個別の手話指導も行う。



(別紙5)

⑥ 11月25日～1月7日 芝居稽古

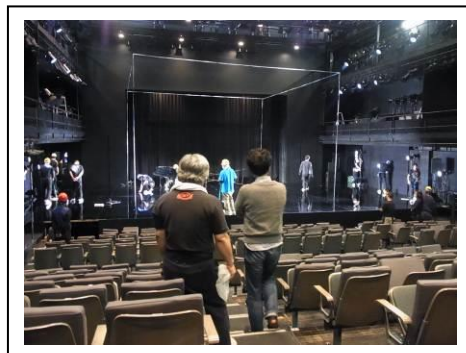
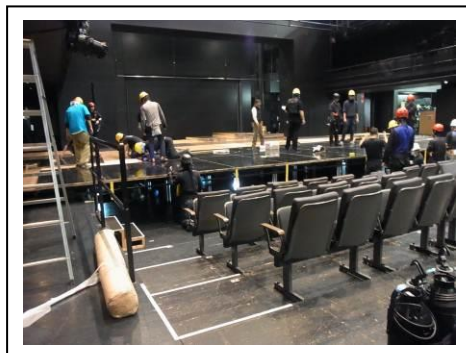
世田谷パブリックシアター稽古場にて稽古を行う。演出家・出演者・舞台美術・照明・音響・衣裳・メイク・舞台監督・手話コーディネーターなどと共に進行。



⑦ 1月8日～舞台の仕込み

新国立劇場小劇場にて舞台仕込みを行う。

照明・音響・演出部・大道具・プロダクションマネージャーなどが本作の仕込みを行う。



⑧ 1月13日～24日 本番

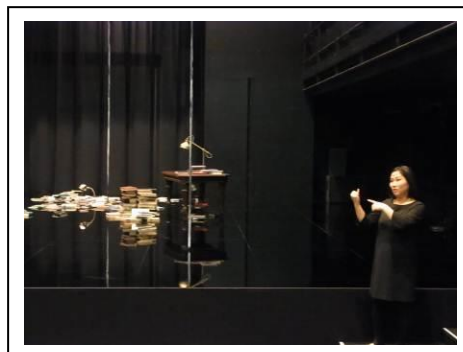
新国立劇場にて舞台『Tribes トライブス』の上演。



(別紙5)

⑨ 1月17日、25日 手話同時通訳付き公演を実施

作品の手話コーディネーターによる手話同時通訳付き公演の実施。(計2回)



2 予想される事業実施効果

社会的問題をはらむ作品の上演で、単に作品を鑑賞するだけではなく、能動的に作品と向き合う機会を提供し、青少年にとっては情操教育の一助となる。また、聴覚障害者をはじめとする弱者の立場にたち、その悩みを想像することの重要性、障害のある人とない人、両者の共存のかたちを考えてもらうきっかけとなるに違いない。一方、演劇を敬遠しがちな聴覚障害者が多数来場したことは、この事業が社会貢献的側面をもつことをアピールし、今後劇場や芸術団体での活動に関してもアクセサビリティの拡大が期待できる。

3 本事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

- ・チラシ
- ・上演台本
- ・パンフレット

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 公益財団法人せたがや文化財団（セタガヤブンカザイダン）

住所： 〒154-0004 東京都世田谷区太子堂4-1-1

代表者： 理事長 永井多恵子（ナガイ タエコ）

担当部署： 劇場部（ゲキジョウブ）

担当者名： 企画制作課長 浅田聡子（アサダ トシコ）

電話番号： 03-5432-1526

F A X： 03-5432-1559

E - m a i l： t-asada@setagaya-ac.net

U R L： <http://setagaya-pt.jp>